

刊夕日二十月十

常警日新聞

定額一紙五錢 一月一元五角 三月四元 半年八元 一年十五元
電話 五五九番 印刷部 電話 六六〇番
發行所 常警日新聞社 東京市本町一丁目
印刷所 常警日新聞印刷株式会社 東京市本町一丁目

今の紫

古代の紫 (三)

城山六八翁

紫根の自然生のもは、之を山紫根と稱し、栽培のものを作り紫根といふ。前者を以て良好とする。紫根の染色方法として、日本染法に掲げたるものは左の如くで今日行はるゝ方法も大略こんなものであるであらふ。

山紫根染汁製法。紫根はよく干し白にて之を搗き糖通しにて篋ひ又右の通もよく搗き篩ひ麻の袋に入れ紫根一升に湯は手の這入らぬ様になし三升斗り入れ随分力をいれよく揉み出し其れを別に除け置き後へ又湯を一升五合程入れよく揉み一番と一つになし又後へ湯を一升程入れ是も一つに其外湯を追々少くなし四五遍揉み出し別に致し置く可し
本紫染法。右淡き紫根汁を温めて手引湯となし其中に型付を揉み込み随分手ざはり柔かになし上へ下へ返し冷めるまで漬置耳とりをなし簀の上にて露を切り又其水を温め右の通り二三返も沸し染めニシカウリ(木の名)の灰

汁強く作り其灰汁を温めて少々ぬるみにし揉み込み色をたゞし淡き時はき紫根をおろし右の通りに染む也

盛岡市の資産家中村治兵衛氏經營の紫草園附屬の染工場では郷土の舊物保存の爲めか、作業迄が一子相傳式の、それは紫根の紛碎にも珍奇至極のカチ／＼山の兎の杵でコツ／＼之を搗いて居る。御伽話の國を目のあたり見るかの心地がする。理學博士の久原躬絃といつた先生が紫根の成分につき風之を今折して、世に公にせられた事があつたが今から十五年前東北大學生の女理學博士黒田ちか子さんが、之が色素の構造につき、東京化學會誌に、其科學的研究を公にして、世人をアツト云はせたものだった。

ノート

堅い物を親が噛んで子供の口に含まれるのは悪習慣、こゝため感冒菌や結核菌等も共に口移りする場合が多い
此研究をついて今有数の女博士だ。
紫根の成分、それは何であるかの研究は、結構の事であつたが、然して此一種獨特にして、上品なる豊かな肉と奥ゆかしい味と濃

古代的な色目と淺い鮮かな麗しさを持つた、此の紫根の紫も、使用簡便で價格の廉いメンシルバイオレットなる、人造染料が輸入されてから、殆ど權威を奪はれて、顧みるものもない様に

【朝】いりとうふいと豆腐もみのり
【畫】フィッシュサダー鮮魚えび、じゃが芋、キャベツ、マヨネーズ
【晚】煮びたし、松茸、ねぎ

なつた、そして昔の様に處々の國々から、紫根の産出せらるゝ話も聞かなくなつた。
今日紫根を栽培したり、染料として使用して居るのは、前に書いた南部の盛岡のみが僅かにそれであるに過ぎない事になつた。朝鮮の全羅、忠清、京畿、黄海平安諸道にも此紫草を産し支那では

茜草及紫草可紫紅紫等色多産於北部及中部、此種染料、自烟致輸出運至南方者、毎年九四六擔など、十四五年前に出来た本に書いてあるが、紫根の運命としては、何處も全一のものであるであらふ。

注意未申丑寅凶(四級)萬事吉只水火の難と印形書附に注意南北凶(五黃)營業繁忙の吉日なるも水火の難に注意して南北凶(六白)氣斗り焦せり物事延々する凶日な申丑寅凶(七赤)金談縁談に奔走の用するの口舌と怪俄に注意東西凶(八白)營業取引や金談に喜悅のある日戌亥と辰己は凶(九紫)萬事涉滞し物事抄々しからざる日なれば退き守るに吉病氣爭論注意

品質第一

平搾乳所

電話二六八番
平町・九品寺前

金銀高價買入

各國時計：眼鏡：貴金屬
御修繕は専門の當店へ

根本時計店

平二(電話六〇七番)

秋!

爽やかな秋の旅を不二の車で
日光鬼怒湯温泉附近案内一部差上げます

不二タクシー

電 32番

門 專

産科 婦人科 花柳病科

◎入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

秋……と……カメラ!!!

聞いて……見て……使つて驚く
MS カメラの軽便さ!!!
これでは誰にも良く撮たる筈です
題材豊かな行樂の秋……
今こそカメラ絶好のシーズン
どなたもゼヒMSカメラで朗かに

各種カメラ 平 驛 前
特約店 いづみや玩具店
カメラ部

確實親切は

正木織物店ノ生命也

絹織物へ正木織物店へ
開業三十五週年を祝するため
二割引にて大々的勉強御註文に應ず

御註文ノ時(呼出六七四番)へ店員伺ヒマヌ
平町字新町貳十貳番(公園下)

正木織物店

賃織販賣

勞資協調を主眼に 勞務協會支部設置

◆警炭で來月發會式

石城郡内郷村警炭炭礦では勞資協調勞働従業員の精神訓育を向上させる目的で今回日本勞務者教育協會支部を設置する事となり支部長に小島勞務課長幹事に鈴木喜平氏ほか數氏をあげ來月上旬淺野記念館に盛大な發會式を舉行するが當日は水戸市の元代議士菊地謙二郎氏が講演すると

平の水神祭

十五日に執行

平町では來る十五日八幡小路地内排水池に於いて水神祭を舉行する豫定で明十三日午後一時より役場會議室に於いて水道委員會を開き祭典執行に就いての打合せを行ふと

誕生した山田産組

振込み九分の好績

石城郡山田村に九月下旬より設置された信用購買組合では此の程全組合員六百戸より一戸三圓宛計千八百圓の第一回拂込金の徴收を開始したが組合の確立に全力を注いで居る組合員はドン／＼拂込みをなし既に九分通りの徴收を終つたが同組合今後の活動は有望視されて居る

勤績教員表彰

篠山氏外二氏

平第一小學校校長篠山廉氏は來る十七日日本縣男子師範學校創立六十週年記念に際し永年勤績者として表彰されるが尚内郷尋高校長佐藤一氏、勿來尋高校長折笠鬼子太郎氏も表彰されると

郡下青訓の規則改正

けふ協議會

平第一篠山、好間尋高吉田小名濱西山の三校長は本日午前十時より平第一校で來る十一月一日同校に開かれ

健康診断を行ふ事になつた十六日警崎、十八日同村上下瀧、十七日上遠野村廿日より三日間入遠野村

湯本町警炭グラウンド 國庫補助の指令

年度内に竣工豫定

豫て湯本町より失業救済事業として内務省に申請中の總工費一萬八千餘圓の町警炭グラウンドの新設は政府より六千八百圓を補助し着工を認可する旨九日附正式指令があつた右事業に使役する延人員は一萬七千人是によつて救済される同町の失業者は六百人で町當局では最初政府補助七千四百五十圓として申請したものを削減六千八百圓とされたものであつて更に具體的設計に着手し年度内に完成の豫定である

傳貧豫防に 放牧地整理

石城警畜馬組合では年々馬の傳貧病の發生で尠からぬ被害を見て居り殊に本年は去る七月以降本月迄に六頭の病馬を出して居るが發生地はいづれも放牧馬の盛んな三澤、澤渡、田人の各村に多いので近く同組合では廣大な放牧地を有する前記各村に檢診に便宜な相當の施設を行ふべく調査中である

入遠野助役 選舉問題紛糾

選舉問題紛糾

石城郡入遠野の矢代收入役満期退職に依る後住收入役推薦村會は近く開かれる同村は先は村長改選について民政兩派の抗争あり今回の收入役改選村會にも一波

聯合教員大會 平各校長出席

平第一篠山、第二津田、第三赤津の各小學校校長は來る十一月四日より三日間福島市に於いて開催される奥羽六縣及び北海道聯合教員會に夫々出席すると

常設館たより

平 館 日活時代劇峰吟子、澤田清、山本嘉一主演「フランスお政」ピーアイビー社全聲喜劇モンテイバングス主演「モンテイの脱線亭主」日活現代劇山路ふみ子、久松美津江、一木禮二主演「己が罪環」
世界館 新興時代劇嵐璃徳主演「豪僧道元」新興時代劇尾上菊太郎主演「旅枕五月晴」新興現代劇入江たか子主演「光罪と共に」

平町人事

△田町一六連沼龍輔氏二男 達夫
△田町一六連沼龍輔氏二男 達夫

御用命は印刷物の
印刷日毎警常
電話三六〇番

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番

貸切の●●●
御用命は!!!
獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!

耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院
割烹 住吉屋本店
電話一五九番
季節向新鮮 松たけ御料理
毎度格別なる御最負に預り有難く御禮申上ます。豫ねてより御好評を戴きました、弊店獨特の季節向御料理を始めました。何卒御尊來御試食の程伏して御待ち申上げます。
ひな鳥
水たき
季節向新鮮 松たけ御料理

櫻ヶ岡に躍る!

警女運動會プロ決定

既報警城高等女學校第二十回陸上運動會は来る十七日午前七時三十分正木會長の開會の辭に次ぎ國歌合唱をなし後準備運動を行ひ直に競技に移り終つて優勝學年に對する優勝額及び郡下小學校女兒童四百米の繼走優勝校に對し優勝旗並に賞品を授與し午後三時半頃終了する豫定であるが當日の係員は左の如くである

- 川 有馬 近藤 木幡
- 羽山(賞品記録係)淡路
- 内村(會計)佐藤 大内
- (會場係)杉浦(音樂係)田中(タイムス)酒井(衛生)
- 森 賀澤 萩原(競技準備)土岐 志村 金澤
- 佐藤(召集指揮)山口 鈴木 菅波 安延 武田
- (審判係)日野 穴井 新妻 小沼(競技部)永島
- 穴井 土岐 日野 新妻 大内 鈴木 志村 佐藤 田中 酒井 山口
- 古澤(接待係)佐々木 大

鮭「戦線」に異状

砂利採取船に邪魔され

鮫川組合が騒ぐ

石城郡植田町の鮫川鮭養殖組合ではそろそろ鮭の産卵期に入つたのである十八日には養殖の設備を行つて鮭の瀧上に備へる事になつたが同川には現在小名濱築港に使用する大型砂利採取船が運行して居る爲め完全な

無盡金横領で

櫻井氏訴らる

平町白銀町櫻井清氏(五七)は本年八月頃常磐無盡會社支部の加入者たる四倉町伊藤軍之助外六名より一名十五圓宛計百五圓の積立金を徴

禁漁区内で

底曳網

石城郡江名町大字中之作字榎戸一二漁業吉田喜十(五七)は去る五月十五日午後一時頃漁業禁止区域内なる四倉町沖合で漁業をなし機船底曳網漁業取締法違反として

箕輪違反の公判

略式通り罰金求刑

既報箕輪村々會議員小沼末造氏外五名に對する選舉違反事件の第二回公判は昨日午後一時より平區才判所に於て開口判事係り清田檢事立會、大嶺、安齋兩辯護士列席の下に開延され證人として末造の妻クニ及び小沼富太郎の訊問をなし後檢事より左の如く求刑されたが判決言渡しは来る二十四日午前九時である

罰金百圓 小沼 未造

同七十圓 高萩 國太

同六十圓 吉田喜一郎

同五十圓 高萩 依宜

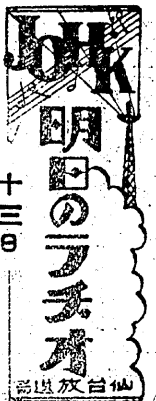
同五十圓 小沼 延伊

同三十圓 小沼才太郎

漂浪の若者

役場へ保護願

双葉郡新山町上町二二三清從弟無職針野勝吉(二七)は東



明日の予報
十三日
今夜も明日も北東の風薄曇り時々晴

今晩の部

▼六、〇〇 子供の時間
少年運動講座(第一日)日
本野球史横井春野

▼六、二五 英語講座
(二の四)勝田孝興

▼七、三〇 映畫の夕
映畫劇軍國挿話「カタカナ中尉」出演寶塚キネマ

危なかつた

腐れ橋

免れた御難

石城郡勿來町勿來運送會社運轉手助川敏雄(三六)は助手桑島秀雄(三七)と共に十日午後四時半頃トラクに煉瓦五百貫を積んで川部村宇小川地内一つ橋を渡らんとした際重量と橋が腐朽して居た爲め崩壊後部車輪が落ち込んだが人命に死傷はなかつたと

繭價漸落!

出荷も減少せん

四倉繭市場の昨十一日に於ける取引貫数は八百六十三貫最高四十圓、最低二十八圓二十錢、馴三十七圓五十二錢と最近に値下りを見ながら既に養蠶家も品落で今後は出前も漸次減少するものと見られて居る

漁村産業講習

廿一日に開催

石城信用組合聯合會では来る廿一日午後一時より團體事務所樓上に於いて郡下小名濱、江名、豊間、四倉の各組合職員を招集して漁村

明日の部

▼前六、三〇 基礎英語講座
(十四)岡倉由三郎

▼前九、一〇 料理献立「蟹のなんば煮」

▼前一一、三〇 家庭メモ

▼前一〇、三五 家庭講座

▼後〇、〇五 箏曲 一御園の松 二園の秋 箏小野嘉代壽其他

▼後一、五〇 野球試合實況
東京大學野球聯盟リーグ
戦(神宮球場より中継)

▼後二、〇〇 家庭大學講座
「現代日本畫の鑑賞に就いて」野田九浦

公判傍聴

警女生が

警城高等女學校に於ける來春の卒業生八十餘名は明日午前九時より平支部で開延される山田村大平武に對する傷害致死事件の公判を傍聴すると

平職業紹介所報告

求人を求める方

- △農夫 四十以下 月十圓
- △外面談(江名町某)
- △豆腐賣子 三十以下 尋卒 賣上の二割給(平町某)
- △大工 三名 四十迄 尋卒 日一圓(湯本町某)
- △外交員 四十五才 尋卒 四割給(平町某)
- △回職を求める
- △雜夫 二十七才 尋五修 給料面談(赤井村某)

美味で!

評判の...

イワキ
サロン
電 352

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡文庫

(申込次第規則書進呈)

銘剣秘双録

【禁無断轉載上演映畫】
 寶井馬琴 演
 山本英春 畫
 第六十三回 血に飢ゆる村正



且那に知れて平氣一寸茶を呑みに上りましたのが縁となりまして猫の前へ鯉節を置くやうなもので何日か次郎吉とおこんが深い中にはなりました、且那に知れると面倒と思ひ初めの中は宜い鹽梅に且那の來ない時に次郎吉を呼ぶやうにして居りましたのが段々熱度が増して來て今では晝間でも次郎吉が亭主氣取で長火鉢の向ふへ座り贅澤好みで朝から二人は酒びたりでございます、或日の事で相變らず巫山戯ながら飲んで居る所へ突然澁江右膳殿が這入つて參りました下女は慌て、女「内儀さん、且那様が入らつしやいました」と大きな聲で合圖を致しました、ハッと思つた二人は今更逃げるに逃げられず紺「次郎さん宜いやね、どうせ始終は露顯だアね、落着て座つてお出でよ」と度胸を据ゑて居る所へ右「お紺や今日は一寸近傍まで參つたゆゑ夫で寄つたのだ」紺「且那能く被爲入いました、今頃お出ではあるまいと思つて一杯頂いて居るまい

いな、此方は仕立屋さんでございまして此間拵へてお貰ひ申した三枚着が揃ひませんから今仕立屋を呼んで直して貰つたのでございませ、丁度飲んで居りましたゆゑ一杯上げたら御酒を飲

い御方だ女ばかり置く事ゆゑ何かと近所の厄介者此上とも宜しく頼むぞ、紺や此のお方に何か馳走をして上るが宜しい、拙者は立歸るゆゑ跡でゆつくり御馳走をして上な」とさすが留守居役を致します澁江右膳、諸家様共に御留守居といふ役は堅いばかりでは勤まりませぬ、随分花魁買ひもすれば藝者買ひもするし始終酒の交際をして居る苦勞人、扱は初めたなど早くも氣が附いたと見えて手附す屋敷へ歸つて終ひました、跡へ殘つた

まないと見えてあんなに赤くなつてお在なざる、ネー仕立屋さん」と目で知らせました次「毎度仕立物の御用を致しまする者でございませ、且那様には初めて御目に懸りまする」右「ア、左様か仕立屋らし

取つて居られる者かね、那れでも且那となつて居ると些たア遠慮もするが來ないに極りやアお前が亭主だアね然らんに心配をする事はない」と中々悪婦と見えまして其後は次郎吉を亭主同様に致して暮らして居ります且那から貰つた金も澤山あり拵へて貰つた道具諸式や衣類まで餘る程ありますゆゑ賣食せにして宜いと云つて居る中、次郎吉が博奕の資本がなくなるとドン／＼雜物を持ち出したたり諸道具を叩き賣つたり致します、何をしてもそんな事にめげるやうな江戸節のおこんでございませぬ、時も十一月三十日の事汚れきつたドテラ一枚で歸つて來た次郎吉顔を見るより紺「何處へ行つたんだえ次郎さん、昨夜歸つて來ないからどうせ出來が悪いと思つて居たが割がれて來たね」

次「ソツカリ賽に見込まれて昨夜は酷い目に遇つた、今日博ちが直つて宜い貌が揃ふのだが資本がねえので足を抜いたがおこん何處かで五十兩ばかり算段は出來ねえか」紺「五十兩で宜いのかえ」次「早呑込みだなそんな事をいつて都合が出来るから安心してお出」次「どうするんだ」紺「屋敷へ使ひをやつて金を取るのさ」次「馬鹿いつちア往けねえ俺の事が知れて夫シきり助

の道を切つたやうに來なかつた澁江右膳其處へ金を取りに行つたつて遺す者か……」紺「黙つてお出でよ遺さないのは知れて居るが一度使ひをやつて置かないと狂言が仕憎いから夫で駄目を押して置くのだねお梅や手紙を書いたから是を持つて且那の所へ往つてお出で」女「ハイ長まりました」

木村外科専門院
 花柳病科
 平町五丁目 橋目
 電話 三九〇

と手紙を持つて女中は出て行く跡でおこんは硯を出し墨をドシサリ摺つて次郎吉の前へ置き、紺「次郎さん一寸待つてお出でよ」次「何處へ行くんだ」紺「ナアニ横丁へ行つて來ると出て行つたかと思ひますと間もなく風呂敷包みを抱へ込んで歸つて參りました

久全屋商店
 磐城セメント會社特約店
 磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は「久」の生命なり
 玉炭 平驛前
 石炭 阿部石炭商店
 コークス 電話三七番

時代ハ有價證券デス
 帝都證券株式平支部
 東京モリス會社トハ全然別會社デ關係有リマセン
 誤解ノ無イ様願ヒマス。
 簡便ニ金融モ致シマス。
 各地出張所代理店募集。
 高級社員招聘

吸入用酸素度純99%
 度量衡
 秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
 電話四〇番